

第 3 回 さぬき市公共交通検討協議会

1. 日 時：平成 24 年 3 月 19 日（月） 14:00～
2. 場 所：さぬき市役所 3 階 301 会議室
3. 出席者：[委 員] 十河孝男 堀尾全一 中山 宏 岩崎喬士 山下美穂子
 吉原正和(代)吉田 上野尚昭 今村卓史 箕 崇弘
 植田俊也 佐野 満(代)山崎・岩崎 白井章男 和田浩二
 工藤衛一 齋藤 弘 松岡三千子
 [事務局] さぬき市長 大山茂樹 都市計画課係長松岡 崇 同課主査田中和樹
 (株)福山コンサルタント 森谷淳一 森友雅彦 中谷俊文

4. 議 題：(1) 平成 23 年度コミュニティバス見直しに関する報告について
 (2) さぬき市生活交通ネットワーク計画について

[配布資料] 議事次第

- さぬき市公共交通検討協議会 委員名簿
 さぬき市公共交通検討協議会 出席者名簿
 配席図
 資料-1：コミュニティバス見直しに関する報告
 資料-2：平成 23 年度 さぬき市生活交通ネットワーク計画（案）及び概要版
 資料-3：さぬき市コミュニティバス時刻表

5. 会議の内容は次のとおりである。

(1) 平成 23 年度コミュニティバス見直しに関する報告について

発言者	内容
(事務局)	平成 23 年度コミュニティバス見直しに関する報告
(会長)	事務局から説明があったが、皆さんと協議をした結果、バス路線にジャンボタクシーを入れることとなり、多少便利になってコストの方も削減できたものと思われる。また、市民病院へのアクセスは重視したが、なかなかそれに見合った利用者がいないということも聞いているので、そのあたりも今後協議していかないといけない点である。ジャンボタクシーを実際に運行してみようか。
(委員)	津田～志度を運行しているが、(一日あたり)約 10 名程度、多い時で 14～15 名、少ない時で 7～8 名である。当初はもう少し利用者が多くなるかなと考えていたが、今のところは増えていない状況である。また、バスは低床で乗りやすいが、ジャンボタクシーは多少床が高いので、ステップを準備して、高齢者や体の不自由な方が利用される場合には乗務員が降りて手助けをさせていただいている。乗務員に対し、今の運行方法が不便であるという利用者の意見はいただいております、お電話も特にいただけていない。また市の方にお聞きしてみたいと思う。
(委員)	当初利用者の戸惑い等が多いかと想定していたが、特に連絡を受けていない。順調に運行できているのではないか。
(委員)	実績の方がまだ 2 週間程度しかないため、数字として傾向を見るのは難しいのではと思う。歳入の志度～多和線の休日運賃を 200 円から 500 円に値上げするとあり、対象は大窪寺に行かれる方であると思うが、コミュニティバスに乗り継ぐまではどのようにして来ているのか。
(事務局)	多くは JR 志度駅、またはことでん志度駅、長尾駅であると思う。
(委員)	電車や駅との結節点での PR 等でコラボ(協力)できるのではないか。今特にやっていなくても、利用していただいているみたいなので。営業キ口を考えると、500 円でも安いと思う。それを PR していても良いと思う。

発言者	内容
(会長)	せっかくそのように言っていたいでいるので、すぐに(ポスター等を)作成して電車の中や駅に貼らせてもらうべきではないか。
(委員)	無償で行うもの、お金をいただいて行うものがあるが、まずは無償で考えてはどうか。
(会長)	数字や対策を見ていかがか。
(委員)	まだ日数が少ないので何とも言えないが、まずは皆さんが言った通り周知をしていくことであると思う。 このように変わったということを皆さんにお知らせしていることで、徐々に改善していくと思う。
(委員)	2月27日からダイヤが変わって、個人的にはいい数字が出るのではないかと期待していたが、新しくなった市民病院、ダイヤが変わったという周知の方法が適切なのか。さぬき市CATVだけでいいのか。 テレビは見るが、さぬき市のニュースをずっと見ることは無いと思う。 情報が市民の耳にどこまで届いているのか疑問である。 県立中央病院(高松市)に行くには往復800円かかるが、さぬき市民病院だと往復400円で済むため、PRがうまくいけば利用する人も増えてくると思う。 使いやすさを向上していかないと、病院の患者さんもバスの利用者も増えていかないとと思う。
(委員)	周知の徹底を図るといえるのは重要であると思う。 旧大川町では朝7時半から「お悔やみ放送」というものがあるが、病院に行く年齢層の方が多く聞いているため、その中で周知を行ったらどうか。
(事務局)	先程の報告の中で周知の方法についてお話をさせていただいていなかったもので、ここで報告させていただきたい。 広報紙で時刻表と見直しの内容を周知した。 ケーブルテレビの番組と文字放送、音声告知放送では見直しの前後1週間周知を行った。 またさぬき市のHPへの掲載や新聞に今回新しくした時刻表を折り込みさせていただいた。
(会長)	バスを利用されているお年寄りに対しての周知の方法としては、新聞に折り込みをした場合お金がかかるので、自治会の配付物と一緒に配る方法も考えられる。 費用対効果をもっと見直していく必要があると思う。
(委員)	津田の北山地区に住んでいるが、非常に年寄りが多く、人数は少ないが、バスが必要な地域である。 今回の見直しの中で、「もしかしたらコミュニティバスが廃止になるのでは」といった噂が流れたので、市の担当者にわざわざ来ていただいて、地域の説明会を実施していただいた。 非常に関心の高い人が多いことや、2回ほど地域説明会を実施していただいたこともあり、利用している方が多いと聞いている。 ただ、関心が高い人は広報についても目を通していると思うが、そうでない方に対しては音声告知放送による周知が徹底できるのではないのかなと思う。 またジャンボタクシーへの変更については、運転手がステップを置いてくれる等の細かいサービスをしてくれるので、乗り心地がよいと聞いている。 また買い物や通院が多いが、待ち時間が少なく病院に行きやすくなったと聞いている。
(会長)	皆がルートを確保するために、皆が協力して利用することが必要であると思う。
(委員)	警察でも周知を行うことがあるが、末端にまで情報が行き渡るのは非常に難しい。 特に香川県民は新しいものにはすぐに飛びつくが、飽きやすいといった傾向があるので、色々な施策(周知方法)を考えて、知ってもらえるように努めている。 やったらやりっぱなしではなく、悪いところがあれば見直すことで、より多くの方に利用してもらうことができると思う。 途中でやめてしまったらそこでお終いなので周知し続けることが重要であると思う。

発言者	内容
(委員)	<p>計画目標に「便利で使いやすく持続可能な交通体系の創造」とあるが、まず周知することで知ってもらい、実際に乗ってもらい便利であるということになれば、どんどん乗ってもらえると思うので、きっかけが大事であると思う。</p> <p>まだ時間がかかると思うが、「持続可能」ということなので、皆さんで温かく見守っていく必要があると思う。</p> <p>また広告については、お金をかけずに皆さんに知ってもらうために、地域独自の方法がそれぞれあると思うので、そういう知恵を生かしてもらい公共交通の利用に切り替えていただけたらと思う。</p> <p>さぬき市民病院での周知は行っているのか。</p>
(事務局)	<p>病院の方では、待合所の電光掲示板やポスターで周知を行っている。</p>
(委員)	<p>実際に使われる方は市民病院に来られている方だと思うので、病院での周知活動を徹底してもらって、乗ってもらう人を増やし、その上でそれが便利だということになれば、より多くの人に利用してもらえるとと思うので、そういう意味では一番近いところでの周知活動ということが重要であると思う。</p>
(委員)	<p>時刻表の中にさぬき市民病院が新しくなったことが書いていない。</p> <p>さぬき市民病院に行っていない人に見てもらわなければならない。</p> <p>例えば、志度や津田から何時のバスに乗って、診察してもらって、何時に帰って来られるということを示さないと分からないのではないかな。</p> <p>今回の見直しの目玉をはっきりさせるべきであると思う。</p>
(委員)	<p>利用している人、興味のある人は知っているが、これから利用していただきたい人は知らないと思う。</p> <p>これから総会もあるので、総会に行って、コミュニティバスの利用促進に向けて周知をするべきではないかと思う。</p>
(会長)	<p>老人会等でも機会があれば、積極的に周知をしてほしい。</p>
(委員)	<p>志度～小田の運転手には御礼申し上げたい。</p> <p>誰がどこで何時に乗るかを把握されており、いないときにはどうしたんだと他の乗客に訪ねてくれるので、非常にありがたい。</p> <p>また、元気な人が多く、80歳を超えても皆車に乗っているのだから、この方々がバスを利用してくれるかどうか。</p> <p>それに5年後には現在バスを利用している人の足腰が弱くなって補助がないとバスに乗れなくなってしまおうと考える。</p> <p>今でも急に病院に行くことになった場合には、近所の方の車に乗せてもらっている。</p> <p>また緊急搬送の際にさぬき市民病院に搬送される率が少ないのではないかなと思う。</p> <p>まずはかかりつけの病院に行くが、その後の紹介が市民病院ではなく県立中央病院の方が多いのではないかな。</p> <p>その辺りの地域との連携をもっと考えていく必要がある。</p> <p>また、市民病院に通院する方が増えれば、バスを増便した意味があると思う。</p> <p>今乗っている方が、いつまで自分自身でバスに乗れるかを考えておく必要があると思う。</p> <p>ある時期までは今の利用者を維持できるが、ある時期で急に利用者が減るときが出てくると思うので、その時にどうすべきかを考える必要がある。</p> <p>現在一応小学生未満の子供2名までは無料という制度になっているので、こういう制度はバスに乗りやすいきっかけになると思う。</p> <p>要介護者やお年寄りも付き添いが来てくれればバスに乗れるが一人では不安という方もいるので、問題になってくる。</p> <p>小田の人は買い物に行くということで国道に回してもらっているが、それでも一人では不安なため、友達を誘って乗っている状況である。</p> <p>利用者が急に減って維持ができなくなった時に維持していく手段を考えておくべきである。</p> <p>ただ単純に高齢者が増えたからといって利用者が増えるという単純な話ではない。</p>

発言者	内容
(委員)	<p>歳をとってから慣れている行動をするのは問題ないが、行動を変えるということは簡単ではない。</p> <p>本当にバスに乗ってほしい人は音声告知放送を契約していない人が多い。</p> <p>大まかな宣伝というのはしたようであまり役に立たないのではないかと思われる。</p> <p>個々に具体的にこうしたほうが便利だとかいう周知を行うことができればよい。</p> <p>老人会や婦人会の総会に出席する人は少ないので、出席した方が近所の方に伝えるといった口コミの宣伝が一番必要ではないかなと思う。</p> <p>地域の民生委員にお願いをして、地域の人がバスを利用するように宣伝をする必要があるのではないか。</p> <p>ジャンボタクシーの乗降は疲れるので、運転手の方は十分高齢者に対する配慮をしていただきたいと思う。</p>
(委員)	<p>私も小田だが、車の人は市民病院に行く人が多いが、バスを利用する方は志度まで行って電車で屋島病院に行く人が多い。</p> <p>今のダイヤだと病院の帰りにバスがなく、タクシーで帰ることになってしまう。</p>
(事務局)	<p>ぜひ次の見直しの機会に検討させていただきたい。</p>
(会長)	<p>時刻を見直したばかりなので、すぐ変えられないという考えではなく、少し格好悪くても時刻表を書き直すくらいの気持ちはほしい。</p>
(委員)	<p>今回見直した時刻表を再度、小田の住民説明会に諮って意見を聞く機会があってもいいのではないか。</p>
(会長)	<p>JRの時刻も改正されるということなので、必ず不平不満はあがってくる。</p> <p>それらの意見を踏まえて、幹事会を開いてはどうか。</p>
(委員)	<p>周知については、新規の利用者をどのように開拓できるかが重要であり、一番が口コミであると思うので、地域の民生委員や老人会長、婦人会長等に一度乗ってみてということをお願いすることが一番大事であると思う。</p> <p>また、もっと市民の方に親しまれる愛称を募集したり、バスの車内にさぬき市の思いやコミバスの意見を掲示したり、車内に子供たちが作った折り紙等でデコレーションする(クリスマス等)ことが地域の人々で作ったバスであるという実感を得ることができると思う。</p> <p>お金をかけなくてもすぐできることを試してみようか。</p> <p>また、車内の広告だけでなく、音声の広告をしてもいいのではと思う。</p>
(委員)	<p>PRの仕方、時刻表改正により良くなった部分を箇条書きで書き出して、例えば小田から市民病院までが改正前 分だったのが、改正後は 分に改善されたとか何分に出たら何分に着くといった具体的な内容(効果)を示しても良いのではないかと思う。</p> <p>合理化云々は利用者には関係ない。</p> <p>また、既に作っているかもしれないが、市民病院を起点にした時刻表を作成すればよいのではと思う。</p> <p>できるだけ利用者目線に立ってアピールすることが大事なのではないかと思う。</p>
(会長)	<p>ジャンボタクシーの導入に際して、運転手が乗降に手を貸してあげているということは非常に喜ばしいことであると思う。</p> <p>ただ、タクシー会社の社員に対しては、もっと教育をしていくべきであると思う。</p> <p>京都のMKタクシーのドライバーがどのようなことをしているかを勉強することで、さぬき市のタクシー会社のレベルアップにつながるのではないかと思う。</p> <p>長野の中央タクシーについても素晴らしい業績を上げており、そこには戦略もあるが、基本的には人であり、乗務員がどのようなことをしているか、社員教育ということについて考えていただきたいと思う。</p>

(2) さぬき市生活交通ネットワーク計画について

発言者	内容
(事務局)	さぬき市生活交通ネットワーク計画の説明
(会長)	<p>現在スクールバスを含めて、施設管理公社、温泉旅館、教育委員会、商工観光課等にもバスがあるため、これらの複数のバスをお互いに共有し、有効活用することが大事であると思う。</p> <p>今以上にコストのかからないやり方、遊休バス、運転手の有効活用が必要であり、オールさぬきでやっていくという考え方がなければならない。</p> <p>委員の皆様には遠慮なくご意見をいただきたい。</p>
(委員)	<p>今すぐにとということではないが、将来的には「さぬき市生活交通ネットワーク」だけではなく「さぬき市生活ネットワーク」を検討する必要があるのではないかと思う。</p> <p>(交通以外の要素を含めた検討)</p>
(委員)	<p>交通弱者をどうにかしようという発想だったと思うので、全てを何もかもということになると、議論が非常に難しくなるのではないかと思う。</p>
(委員)	<p>今ここで何もかも取組むと論点が絞りにくいが、さぬき市としてはここまで行きたいんだというイメージがあってもいいんじゃないか。</p> <p>交通だけで考えていたらぶつかる壁が出てくるのではないかと思う。</p> <p>市の職員はバスを利用するためにできることはないのか。</p> <p>トータルでどうなるのかを検討する必要があるのではと思う。</p> <p>でなければオールさぬきとはならないと思う。</p>
(会長)	<p>これから何をどうしていくかという概要が示されており、「便利」「持続可能」という言葉があるが、費用対効果が重要であると思う。</p> <p>この概要からそのことがうかがえるか。</p>
(委員)	<p>交通ネットワークについてだが、交通だけでない部分も生活にはあるので、それは別の場所で検討していただく必要があると思う。</p> <p>ここでは交通の部分について検討するべきではないかと思う。</p> <p>次年度以降に利用者アンケートを実施するとあるが、公共交通体系を構築していくというのは時間のかかる作業である。</p> <p>本日もダイヤ変更後になかなか結果が出ていないとの声もあったが、ここではその様な声をどんどん出してもらって、地域にはこういうものがあるよといった、行政が分かっている部分を皆さんがこういう知恵があるよということを話し合ってくださいことは重要である。</p> <p>ただ、先程不具合が出た時にすぐに変えた方がいいのではという話があったが、それをするると逆に利用者の混乱を招いてしまって、実際にここでアンケートを取りますということになった時に、ある程度のスパンがないと、利用の動向がつかめないため、何が何だか分からなくなってしまう可能性がある。</p> <p>そのスパンの中で、出てきた新たな問題に対してここを見直しましょうといったスパイラルアップをしていき、皆さんが使いやすいように地域の中での公共交通、ひいては生活の方に充足されるような形でつながっていけばよいということを長い視点で見えていく必要がある。</p>
(会長)	<p>時刻表については、どのくらいの頻度で変えているのか。</p>
(委員)	<p>(ことでは)ダイヤ改正をするときには必ず新聞の折り込み等を行っているが、それがどのくらい効果があるかというのは数字ではちょっと分からない。</p> <p>ありとあらゆる手段で周知は行っている。</p> <p>時刻表の改正は3年に1度程度の頻度で行っている。</p> <p>変えるときには大幅改正をしており、それはお客様の要望によるものが大きい。</p> <p>現在力を入れているのは長尾線であり、利用者も微増している状況である。</p> <p>志度線は減少傾向である。</p>
(委員)	<p>(JRは)新幹線のダイヤ改正(全国)に合わせざるを得ない。</p> <p>岡山からの特急等をそれに合わせている。</p> <p>その中で普通列車を入れていくため、地域の需要を加味する余裕が全くない。</p> <p>全国のダイヤ改正は年に1回行われており、つい先日の土曜日に改正された。</p> <p>新幹線との乗り継ぎを最重視している。</p> <p>コミュニティバスの方が融通がきくため、そちらを併せていただきたいとは考えている。</p>

発言者	内容
(委員)	<p>(大川バスは)うちはもっと頻度が低い。 毎日の乗降の数字でダイヤを見直している。 朝と夕方のダイヤを決めると、昼間のダイヤはある程度勝手に決まる。 人の多い時間帯を考慮してバスを運行しているの、少ない時間帯はあまりダイヤ設定の考慮はしていない。 コミュニティバスについては、通勤・通学が一番ではないため、その考え方とは少し変わってくると思う。 おそらく通院や買い物がメインで、ついでに通学も乗ってもらう考え方だと思う。 考え方が違うのは間違いない。</p>
(事務局)	<p>一年間住民の意見を聞いてきて、当初町をまたぐ移動が多いのかなと思っていたが、話を聞くと高齢者は地域内の移動が多いことが分かった。 全体的な乗り継ぎよりも地域内での小さい乗り継ぎが必要になっているのではないかと感じている。 市民病院が新しくなったので、そこに車両を追加して4便から6便に増やしたが、利用が思ったほど伸びていないため、今後の動向を見る必要があるが、ちょっと時間がかかるのかなと思う。 病院とも協力しながら促進を図っていきたい。 課題を考えていくうちに利用者の方からニーズが吸い上げられるのではないかと考えているので、できれば1年に1回程度は細かいところをダイヤ改正等で調整できたらと考えている。</p>
(会長)	<p>もうひとつはダイヤに関して不具合があった場合、2~3分のズレであったら待つとあけるといふ弾力性を持つことがコミュニティバスの良いところであると思う。 ダイヤを変えようとなると難しいと思うが、弾力性を持って対応できれば、コミュニティバスは地域に根を張ったものになるのではと思う。 たくさん文句があるということではなく、運用の中で対応してあげたら不満・不便を解消していくことにつながっていくと思う。 だからそういうことを主として、市民の足なので利便性は大事である。</p>
(委員)	<p>小田から市民病院に行くときに乗り継ぎにお金がかからないことを宣伝してあげないと分からない。</p>
(会長)	<p>志度駅に着く前に必ず音声で乗り継ぎがあるかどうかを知らせてあげることが必要である。</p>
(委員)	<p>小田の人は知っているが、他の地域の人には知らない。 通知したということだけでは、周知効果が低いので、バスの中で知る良い方法がないのかと思うので、検討してほしい。</p>
(委員)	<p>今年は10周年記念行事がたくさん組まれているが、これに対するコミュニティバスの対応ということは考えているのか。 それとも行事にもっとコミュニティバスを使ってできるだけ参加してもらうような運動をやらなければならないのではないかと考える。</p>
(事務局)	<p>行事とダイヤを合わせるというようなことは考えていないが、告知等は可能だと思うので協力していきたいと思う。</p>
(委員)	<p>病院に行く人は皆午前中に行きたいのがあるが、うまいこと行かないので苦情が出る。 できるだけ努力はするが、キリがないのでできる範囲内で調整してあげることになると思う。</p>
(委員)	<p>10周年記念のイベントは、スケジュール表を見ると、毎週とっていいくらい予定されている。 その中でバスをどうするかという話も出てくるかと思うので、政策課と調整をして交通手段がないということがないようにするべきではないか。</p>

発言者	内容
(事務局)	<p>まず一つ目は、先程お話に出た「公共サービス」については、買い物難民という話もあり、移動販売は基本的には公共サービスではないかという話もある。</p> <p>公共サービスは交通だけではなく色々な面があるので、ある自治体では、行政改革推進室というものを設けて、商工課、観光課それぞれの部長が集まり、問題点について議論している。</p> <p>こういうことができれば、スクールバスの有効活用について教育の方から意見を出すこともできる。</p> <p>また、移動販売をやりたいが車両を買うのにお金がかかるので、運ぶ手段さえ何とかなればという場合に、昼間空いているものをうまく使うということもできる。</p> <p>そういう使い方をすれば、横断的に全体の姿を作れるのではないかと思う。</p> <p>もう一つは高齢者というのは公共交通利用者として期待できないということを当初から申し上げていると思うが、免許保有率が高く、車が習慣化しているので、車に乗れなくなるということはバスに乗れなくなるということである。</p> <p>その様な人には今車を使っている時点でバスを利用するようにしていかなければならない。</p> <p>ある地域では例えば病院に行くときに何時のバスに乗れば診察時間が何分あって、何時のバスで帰ることができる、料金はいくらかかるというものを老人会や自治会で作成して分かるように配っている。</p> <p>これによりバスが身近なものになるということと、料金の問題も自分たちで考えるので分かるようになる。</p> <p>そのようなものを作成して、広報等で例えば「小田地区でバスマップを作りました」ということを掲載すると、他の地区も頑張ろうという気持ちになるので、そのような試みも今後必要ではないかと思う。</p> <p>またアンケートをする中で、全体が対象者であるとバス利用者の回答はわずかであるので、老人会等でバスマップを作りながら意見交換会を行い、問題点を抽出することも必要なのではないか。</p> <p>地域公共交通確保維持計画というのは、年度の区切りが秋（10月から新年度）になっているので、6月までにこのようなことを10月以降したいということを運輸局に申請すれば、実施することができる。</p> <p>このようなことを利用者の側から提言していけば、高齢者の方もやる気が出て乗っていただけるということもあるので、平成24年度は当初から実施していくべきであると思う。</p> <p>また高齢者ばかりではなく、子供たちについても、公共交通の情報を与えて、ある目的地までどの公共交通を使って行くことができるか、乗り継ぎや料金はどのようになるのかということのを計画させてみる必要がある。</p> <p>このようなことをすれば公共交通に対する壁が低くなるので、車だけで移動することが習慣化している子供でも公共交通が身近に使えるかもしれないということを考えるようになるかもしれない。</p> <p>そうならば大人になって選択肢が広がる。</p>
(会長)	<p>お年寄りが皆運転をしているというわけではないので、お年寄りということは無視できないし、利用している方がお年寄りということも事実である。</p> <p>免許の早期返納等も考慮に入れて、公共交通を利用してもらうことが交通事故の減少にもつながる。</p>
(委員)	<p>子供たちにスタンプラリーのようなゲーム形式でバスの使い方（乗継等）を考えてもらうということもあるのではないか。</p>
(会長)	<p>今年度は新しいものもスタートできたので、もっと周知していただいて、せっかく税金を使っているのに、市民の足として便利なものにしていただきたい。それが会議の主目的であるので、頑張ってくださいと思う。</p>